

葬儀のプロはあくまでも縁の下の方持ち 悔いのない葬儀は金額の多寡によりません

葬儀の企画、施行を行う『セレモの森』では、故人にふさわしいお別れのオリジナル葬儀を行う。現代における葬儀のあり方を伺った。

故人にふさわしい
心に残る葬儀で
送り出してあげたい

初めての葬儀の時には喪主は何か必要なのかよく分からない。だから葬儀社の言うままになる場合が多い。

「営業マンによっては、遺族が親族への連絡などで慌てている状況を見越して、営業をかけてくる方もいますね。『お忙しいですから早く決めてしまいましょう』ということで慌ただしくカタログで値段もよく分からないまま決め、エスカーレーター式に葬儀が終わるということが良くあります。葬儀社も営利企業として

ノルマ制のところが多いのです」

『セレモの森』の杉渕社長はそう語る。同社はこれからの時代への葬儀のあり方を提唱している。

「今は経済状況が厳しい時。当社ではお金はなるべく残しましよというスタンスで葬儀を行っています。これからの葬儀は、無理をせず葬儀自体もシンプルなものにして、なるべくお金は残し、見栄で行う葬儀ではなく安心して故人を見送っていただける。そんなお手伝いをして行きます」

なぜあえて売り上げを減らす葬儀を提案しているのか。杉渕代表は次のように語る。

「故人が少しでも安心して仏様の世界に逝けるよう送り出してあげる。我々はそのお手伝いをしているのです。それがビジネスを超えてこの仕事に関わっている意味合いです。報酬はきちんとした仕事をしていけばついてくるのです。そのつもりでやっています。大きく儲けることはないですが、食いはぐれることのない。しかしそれが一番に思えるのです。身の丈を超え



杉渕代表が話をするシンプルで思いのこもった祭壇。

て大きくしようと考えると金主導の仕事になりそうなので、余計なことは考えないで仏さまに生かさせてもらおうと考えています」

何のための葬儀なのか。杉渕代表の言葉にはあらためて葬儀を考えさせられる提起があった。(H)



葬儀社は黒子としてサービスでお金をもらう職業。目立ってはいけません。

株式会社セレモの森

東京都小金井市本町 2-19-21

1 042-401-2755

5 042-401-2750

受付時間／ 365 日 24 時間

定休日／ 無休

<http://ceremonomori.com/>